

地域別検討協議会学区別検討資料(空知北学区)

空知北学区高校配置計画の見込み

区分	R 6 (2024)	R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R 10 (2028)	R 11 (2029)	R 12 (2030)	R 13 (2031)	令和7~13 (2025~2031) 年までの 増減	令和10~13 (2028~2031) 年までの 増減
学区内中卒者数	832	826	819	767	722	742	723	686	▲ 146	▲ 81
対前年増減	▲ 38	▲ 6	▲ 7	▲ 52	▲ 45	+ 20	▲ 19	▲ 37		
滝川市中卒者数	(276)	(290)	(287)	(293)	(242)	(253)	(228)	(221)	▲ 55	▲ 72
対前年増減	▲ 26	+ 14	▲ 3	+ 6	▲ 51	+ 11	▲ 25	▲ 7		
砂川市中卒者数	(119)	(107)	(107)	(86)	(96)	(77)	(95)	(88)	▲ 31	+ 2
対前年増減	▲ 2	▲ 12	± 0	▲ 21	+ 10	▲ 19	+18	▲ 7		
歌志内市中卒者数	(13)	(11)	(4)	(11)	(8)	(7)	(3)	(7)	▲ 6	▲ 4
対前年増減	▲ 2	▲ 2	▲ 7	+ 7	▲ 3	▲ 1	▲ 4	+ 4		
芦別市中卒者数	(66)	(62)	(62)	(52)	(57)	(54)	(53)	(39)	▲ 27	▲ 13
対前年増減	+ 9	▲ 4	± 0	▲ 10	+ 5	▲ 3	▲ 1	▲ 14		
赤平市中卒者数	(49)	(52)	(42)	(49)	(37)	(43)	(35)	(32)	▲ 17	▲ 17
対前年増減	▲ 14	+ 3	▲ 10	+ 7	▲ 12	+ 6	▲ 8	▲ 3		
深川市中卒者数	(117)	(120)	(120)	(102)	(117)	(120)	(118)	(108)	▲ 9	+ 6
対前年増減	▲ 9	+ 3	±0	▲ 18	+ 15	+ 3	▲ 2	▲ 10		
学校名	令和6(2024)年度の 学科及び募集学級数			R6 (2024) 欠員	令和7(2025) 年度	令和8(2026) 年度	令和9(2027) 年度の見通し	令和10(2028)~13(2031)年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計							
単 滝 川	5		5	25			1~2学級 に相当する 中卒者の減	4年間で2~3学級に相当する 中卒者の減		
滝川工業		工 2	2	27						
*滝川西	3	商 3	6	44						
単 砂 川	2		2	30						
奈井江商業		商 1	1	31		商▲1				
新十津川農業		農 1	1	2						
芦 別	2→1		1	14						R6(2024)第2次募集後 学級減
深川西	3→2		2	6						R6(2024)第2次募集後 学級減
深川東		農 1 商 1	2	54		商▲1				
9校	15→ 13	9	22	233		商▲1				

注1 学科種別の「普通」には、普通科のほか、総合学科、理数、外国語、体育等の専門学科を含む。
 注2 学校名の「単」は単位制、「総」は総合学科、「フ」はフィールド制、「中高」は連携型中高一貫教育校、「地」は地域連携校。
 注3 学校名の*は市町村立学校。
 注4 令和6(2024)年度募集学級数の「→」表示は、第2次募集後の学級減を実施したことを示す。

学区の検討事項と現状・課題

学区の検討事項	現状・課題
○中卒者数の増減に対応しながら、多様な学習ニーズに応える高校配置の在り方	<ul style="list-style-type: none"> 令和9(2027)年度の定員調整等の検討に当たっては、52人の中卒者の減のほか、市町ごとの中卒者数の状況なども考慮した検討が必要 令和10(2028)年以降については、令和13(2031)年までに学区全体で81人の中卒者数の減が見込まれることや、欠員の状況を考慮し、再編整備や学科の見直しを含めた配置の在り方の検討が必要 滝川市内については、学校・学科の配置状況や欠員の状況から、再編整備を含めた公立高校全体での定員調整の検討が必要